

第108回
企画展

戦争が もたらすものの

— みどり市の資料から見る
80年前の戦争 —

令和7年

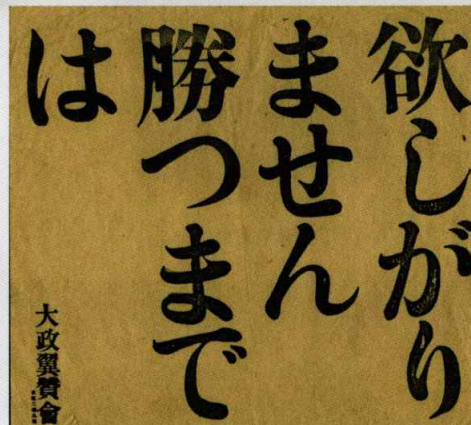
2月22日(土) ▶ 4月13日(日)



防火砂箱



千人針



大政翼賛会



節米報国



出征兵士を送る行列



防空頭巾



休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料：一般 200円 小・中学生 50円 幼児 無料
（20名以上は団体割引あり）

※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、その介護者1名は無料

交通案内 ■ わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分
■ 上毛電気鉄道赤城駅より徒歩15分
■ 北関東自動車道太田藪塚インターより車で25分

群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL.0277-73-4123 FAX.0277-73-4145
URL <https://www.city.midori.gunma.jp/conodont>

みどり市大間々博物館



みどり市博物館
チャンネル

(コノドント館)





戦争がもたらすもの

—みどり市の資料から見る
80年前の戦争—



日中戦争が始まる昭和12年(1937)から太平洋戦争が終戦する昭和20年(1945)にかけて、みどり市からも多くの方が戦地へ向かいました。市内では東町に対空監視を行う防空監視哨が設置され、大間々町には特攻隊員養成を行う常陸教導飛行師団が昭和20年に移駐しました。また、笠懸町には民間の有志によって整備された桐生愛国飛行場がありました。終戦直前の空襲で飛行場としての機能を失いました。

本展では戦後80年という節目を迎えるにあたり、戦争が人々に何をもたらしたのか、みどり市に残された戦時期の資料から振り返ります。出征に関わる資料として、臨時召集令状や千人針、奉公袋、出征の見送りに際して撮影された写真、シベリアの抑留地から家族に宛てられた手紙などを紹介します。この他、戦時中のくらしに関わる道具、節約や供出を呼びかけるチラシ、常陸教導飛行師団関係資料なども展示します。



臨時召集令状



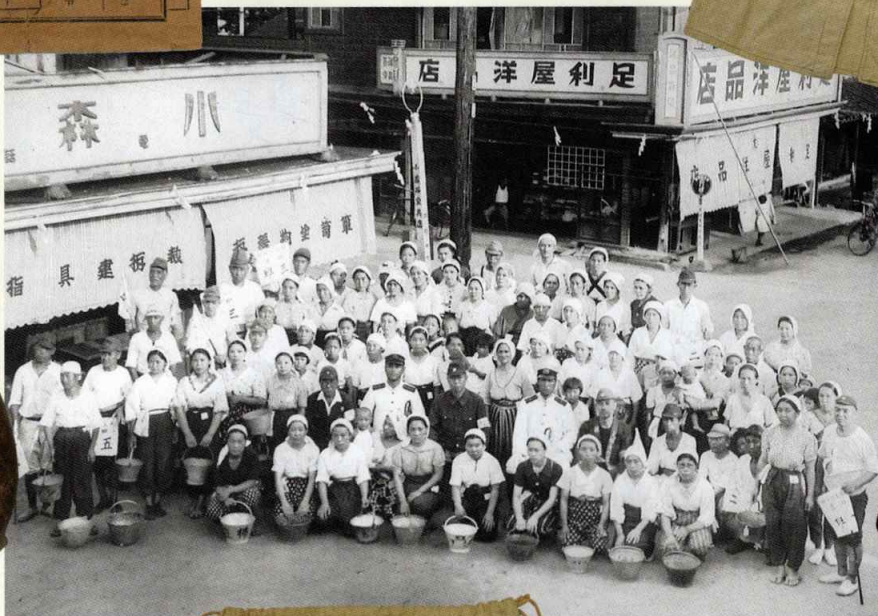
灯火管制用カバー



桑の皮シャツ



軍用水筒



防空演習



奉公袋



飛行靴(常陸教導飛行師団関係資料)



【交通案内】

- 車 北関東自動車道太田藪塚インターから25分
- 電車 浅草～赤城……東武特急で1時間50分
- 上野～桐生……JRで約2時間
- 桐生～大間々……わたらせ渓谷鐵道で13分
- (わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分)

みどり市大間々博物館
(コノドント館)

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL 0277-73-4123 FAX 0277-73-4145